

都道府県名：神奈川県

氏名：大矢^{おおや}明夫^{あきお}

地 域

大矢氏が村長を務める清川村は、神奈川県北西部の東丹沢山麓に位置する、神奈川県唯一の村です。面積の約90%が山林で占められ、村名にもうたわれるように、小鮎川・中津川といった豊かな清流に恵まれ、「水と緑の心の源流郷 きよかわ」の実現に向けた取り組みを進めています。平成8年に「全国水の郷百選」に認定されたほか、平成13年の宮ヶ瀬ダム completion によって誕生した宮ヶ瀬湖は、今や清川村のシンボルとなり、神奈川県の水がめとして県内15市5町に水道水を供給する大切な水源としての役割を担い、また首都圏近郊の皆さんに水景観とレクリエーションの場を提供しています。

略 歴

昭和41年 7月	～	平成11年 6月	清川村職員
平成11年 7月	～	平成18年12月	清川村助役
平成19年 3月	～	現在	清川村村長

功績内容

- ・首都圏最大規模の宮ヶ瀬ダム建設にあたり、移転を余儀なくされた274戸、1,104人の村民の不安を解消するなど、ダム建設に尽力され、また、建設後も関係機関と連携を図り、宮ヶ瀬湖の保全やその意義・歴史の継承などを理念とした「宮ヶ瀬湖憲章」の制定や、水源地域活性化のための行動計画である「宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン」の策定にも貢献されました。
- ・宮ヶ瀬湖周辺において、地域住民と行政が一体となった多くのイベントを実施することで、都市住民に対し、「水の尊さ」と「緑の優しさ」が調和した環境・空間を提供し、年間135万人が訪れる、国内のダム湖有数の観光地を築き上げるとともに、ダム事業など水資源開発の理解促進にも寄与されました。
- ・とりわけ、昭和61年から開始され、清川村の冬の風物詩となったクリスマスイベントは、27万人の来訪者を数えるまでに至ったほか、水源林整備にも積極的に取り組み、宮ヶ瀬湖周辺の水源地・観光地としての総合的な整備に着実な成果を上げられています。

宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい



宮ヶ瀬湖畔園地

清川やまびこ
マラソン大会



宮ヶ瀬湖憲章

宮ヶ瀬湖は、長い年月をかけ、多くの人々の努力によってつくられ、水道用水、水力発電への利用や相模川・中津川周辺を洪水から守るなど、安全で豊かな生活を支えてくれるダム湖です。

こうした恵みには、ダム建設のため、先祖代々住み続けた土地や家が湖底に沈むこととなり、移転を余儀なくされた人々や失われた豊かな自然がありました。

ダム建設にあたっては、人や動植物にできる限り快適なものになるように、自然の再生が図られました。

周辺の自然は、貴重な水源として、生き物を育む場として、また、安らぎと憩いの場としても大切です。

私たちは、周辺の自然を大切にし、守り、育て、利用し、次の世代に伝えていくことを誓い、ここに宮ヶ瀬湖憲章を定めます。

- 1 清らかな宮ヶ瀬湖の水を、みんなで大切にしよう。
- 1 美しい宮ヶ瀬湖周辺を、みんなで守ろう。
- 1 宮ヶ瀬湖周辺の自然を、みんなで育て利用しよう。
- 1 宮ヶ瀬湖の意義・歴史を忘れずに、みんなで後世に伝えよう。

平成10年4月29日制定
宮ヶ瀬湖憲章制定会議